



【調査の目的】

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

【調査の概要】

- 実施日：令和6年1月10日（水）
- 「大阪府」とは「大阪・公立学校」の結果を表しています。
- 中学2年の「社会」はA・B2種類の選択問題があり、本市では全校が問題Aを選択しました。
- 中学2年の「理科」はA・B2種類の選択問題があります。

・実施校数及び実施生徒数

中学1年：18校(2,523人)
中学2年：18校(2,506人)

・学力に関する調査

中学1年：国語・数学・英語
中学2年：国語・社会・数学・理科・英語

・生徒に対するアンケート
各学年11問ずつ

【調査結果の取扱い】

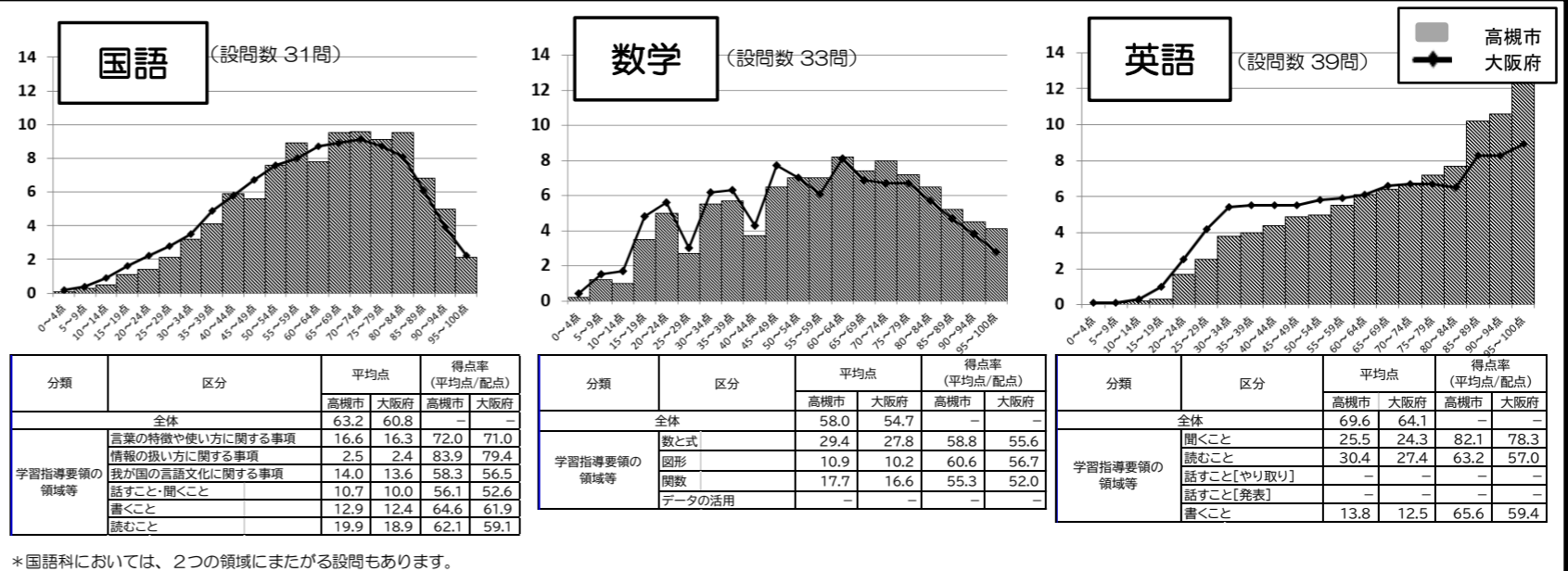
本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないように十分配慮をお願いいたします。
調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

学年・教科別
正答率比較（対大阪府）

学年・教科	令和5年度（点）			
	高槻市	大阪府	差（対大阪府）	
1年	国語	63.2	60.8	2.4
	数学	58.0	54.7	3.3
	英語	69.6	64.1	5.5
2年	国語	70.7	66.8	3.9
	社会	56.4	54.2	2.2
	数学	55.7	52.2	3.5
	理科	42.6	40.3	2.3
英語	63.3	57.1	6.2	

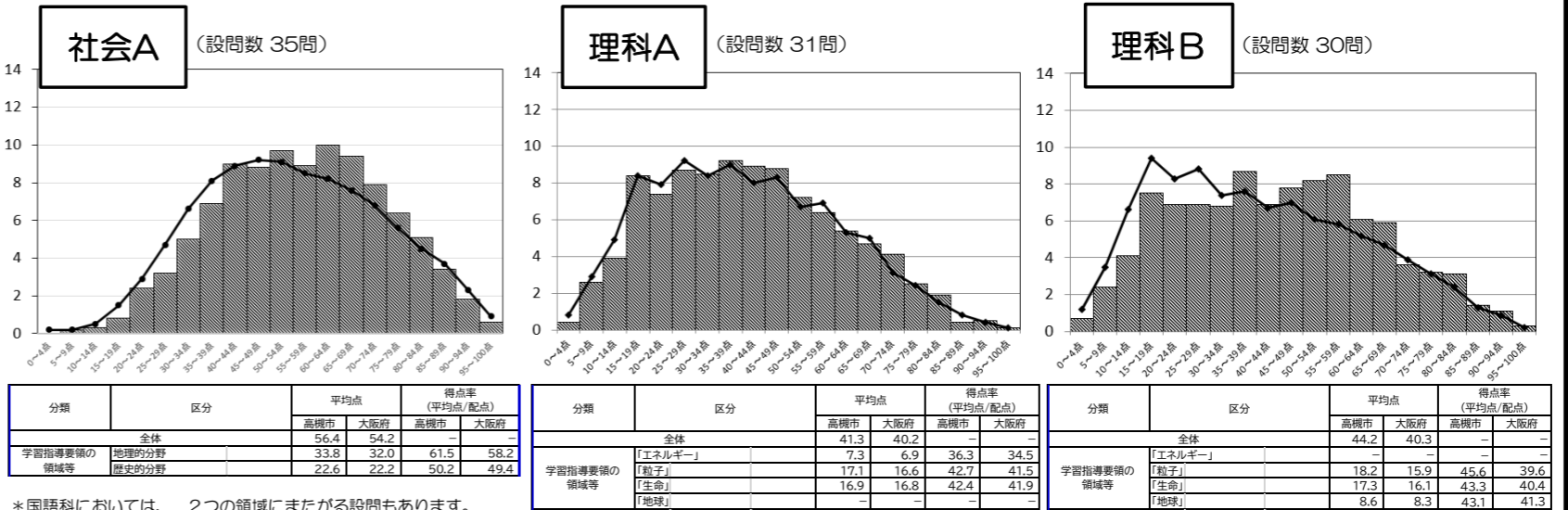
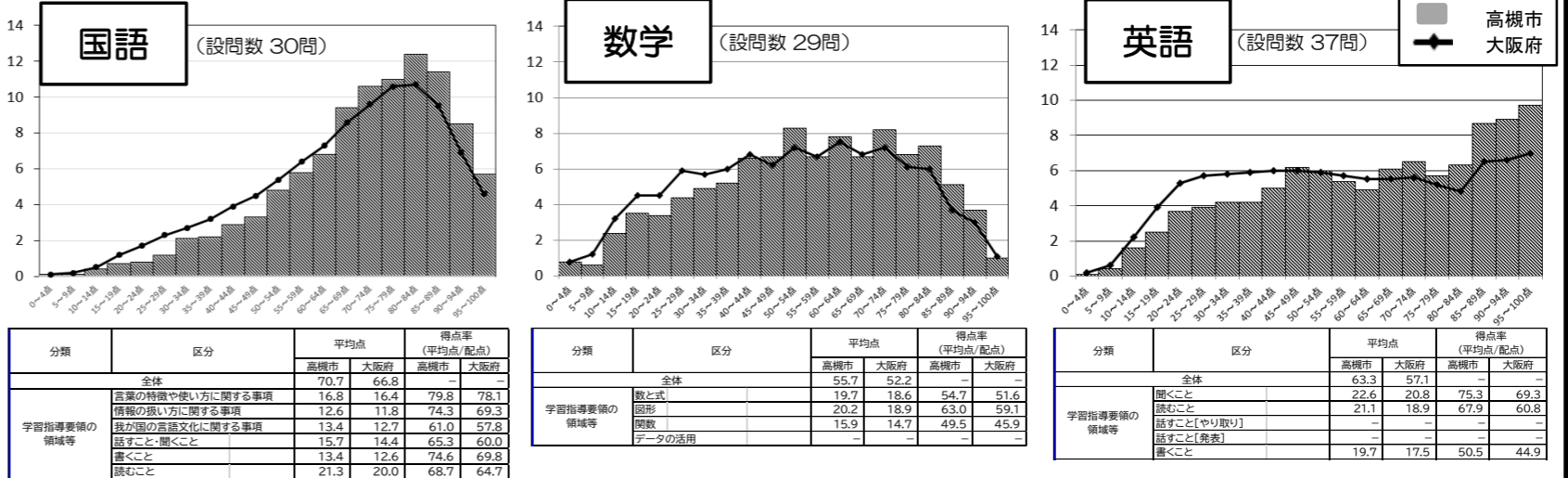
得点分布グラフ 横軸：得点(点) 縦軸：割合(%) 領域別平均正答率/ 対大阪府比

第一学年



*国語科においては、2つの領域にまたがる設問もあります。

第一学年



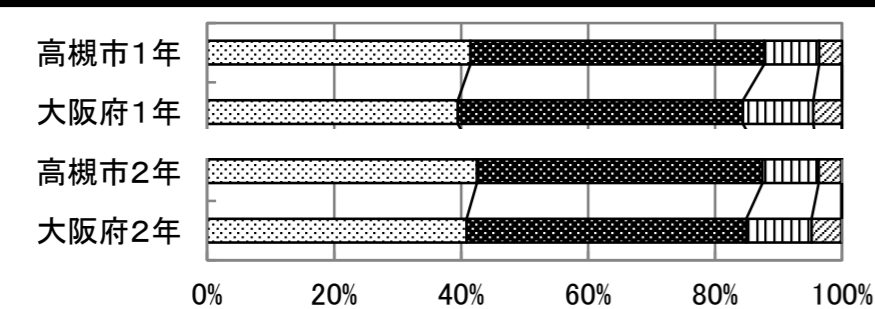
*国語科においては、2つの領域にまたがる設問もあります。

令和5年度中学生チャレンジテスト（1・2年生）

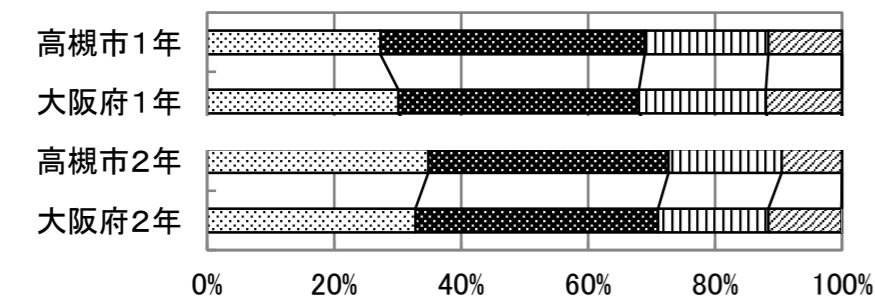
生徒に対するアンケートの結果

凡例 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

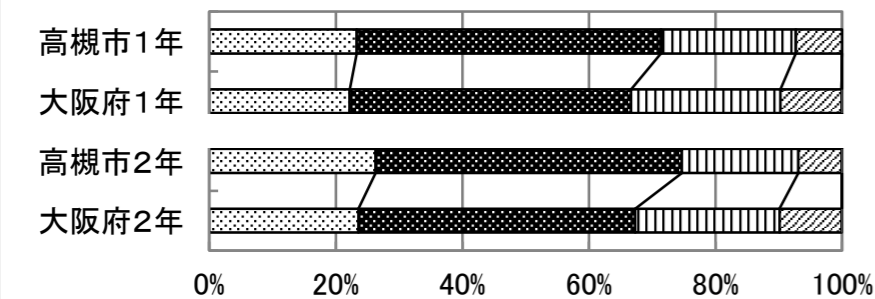
1 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



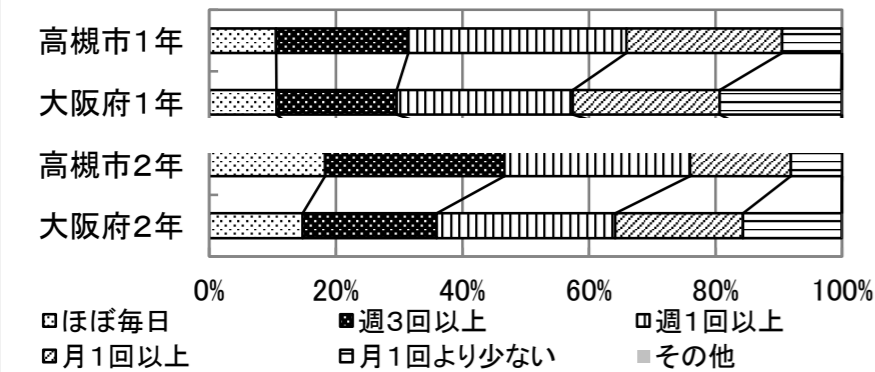
2 わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



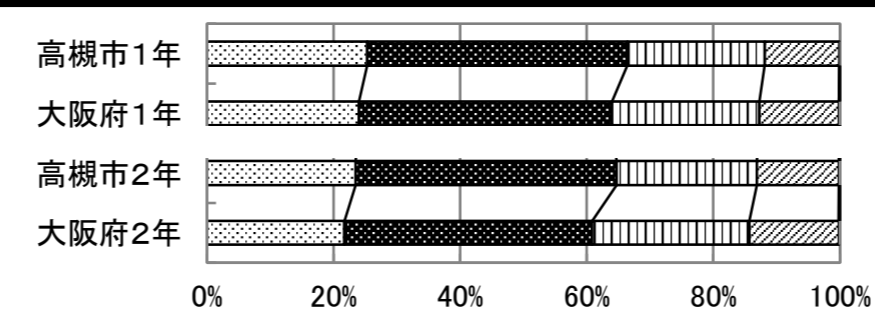
3 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



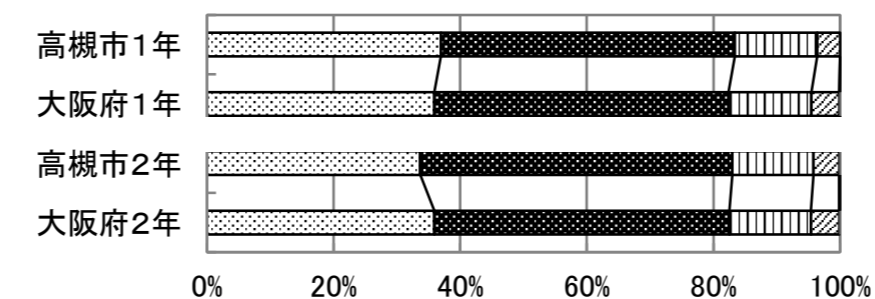
4 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



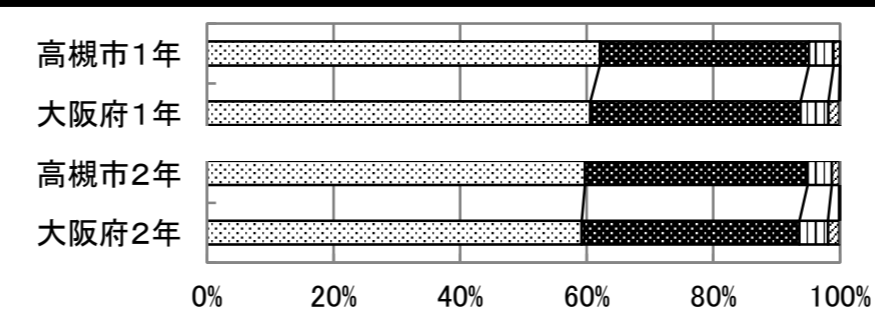
5 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



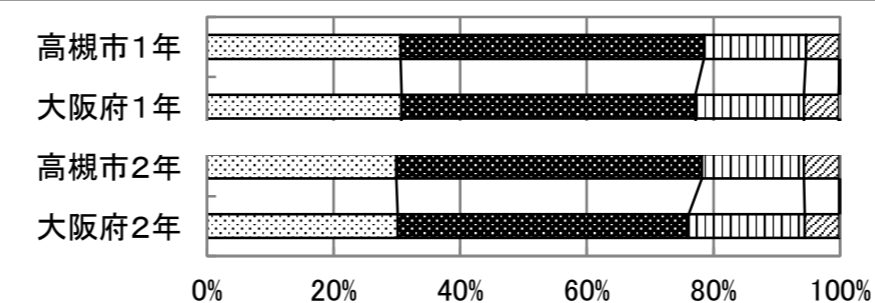
6 あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



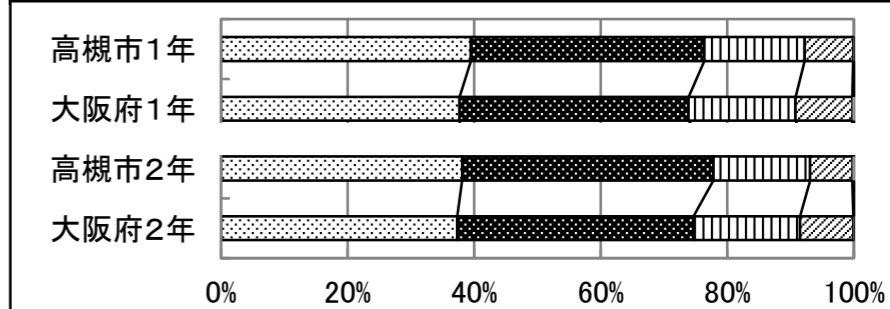
7 学校などで、他の人と協力し合することができる。



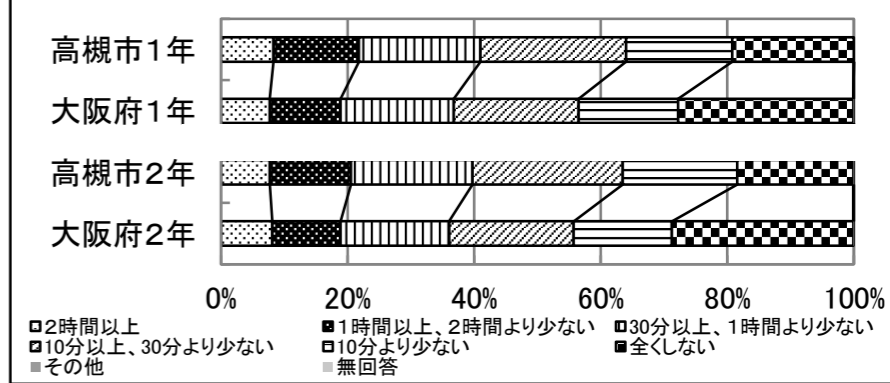
8 難しいことがあっても、あきらめない。



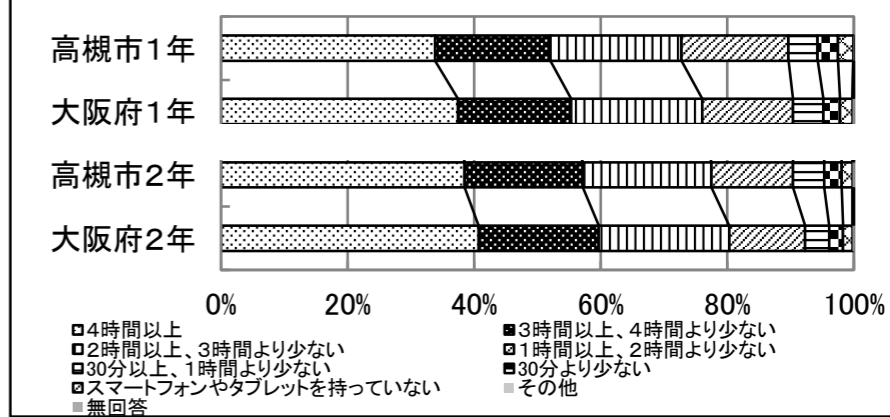
9 テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



10 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



11 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



【各教科の結果について】
 問題の特徴としては、日常生活の具体的な場面を設定した問題が出題されてきました。すべての教科において大阪府の平均を上回り、また、調査内のすべての領域等において、大阪府の平均点を上回りました。

【生徒に対するアンケートの結果について】
 大阪府と比較して、1、2年生ともに概ね肯定的な回答が上回っていました。特に、設問3「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある」、設問4「授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか」は、大阪府を大きく上回る結果となりました。